

# 60歳では、

クロワッサン 2016.11.25. 937 「50代からの、住まい塾。」より

年齢を重ねるごとに家との向き合い方は変わる  
家を見直すには40代だとまだ早い  
60代だと根気よく家づくりに向き合う気力があるか分からない  
50代は良いタイミングかもしれない



## 定年後もオンとオフを切り替えたい

やがては始まる夫婦二人きりの暮らし  
その時はお互いの距離感や、オンとオフの切り替えの考え方も変わってくるはず  
それぞれの理想のライフスタイルを理解しあうためにも、夫婦で話す時間は必要になってくる

# ちと遅いのです



## 「好き」を深掘りできる最後のチャンス

日常のなかで何かを「いいな」と思った時こそ、生活の改善点を発見するチャンス  
なぜそう思ったか掘り下げれば、無意識のうちに「変えたい」と思っていたものが見えてくる  
日頃からアンテナを張っておきたい

## 手間ひまかけるのがおっくうになる

自分の身体能力が変化しているのに、古い電化製品やインテリアを不便な思いをしながら使い続けるのは徒労  
これからの時間の有効活用にも、思い切って買い替えてみる？  
手数を減らす方法を優先的に考えてみる事も必要かもしれない



### はるさんの

「老後の住まいについて考えるなら、50代で始めたほうがいい。30代~50代までの20年間と、50代~70代までの20年間は身体の変化が全然違う・・・」

この一言は衝撃でした。これまでの人生、ずーっと住まいのことを考えてきた  
**はるさん**にとって今までの家づくりに、この体力論は入っていませんでした。  
クロワッサンってすごいんですね。

ということで

50代からのリフォーム・リメイク・リノベーションをあらためて提案いたします。

## 子どもが独立していき 家族が減っていく

子どもたちが進学や就職で家を出ていった後、あいた子ども部屋をどうするか  
また、広いリビングや居間はもう必要ないのかもしれない  
間取りやスペースの活用について、今一度考え直すタイミングが来たと言えそうです

## 自分の時間が増えて子ども以外にも 目が向くようになる

若いうちは保育園や学校など、子どもの事情を優先しての生活を選びがち  
子育てが一段落した時、余暇の楽しみ方や友人との距離など生活環境も見つめ直したい  
家のありようにも変化があるはず

## 「家にできる事」

50代からのリフォーム・リメイク・リノベーションを考える時のキーワードは上に書かれた5つの言葉。これらをもとに具体的なイメージを考えていく事をおすすめします。これはいわゆる家に関するソフトの部分にあたります。  
では、家に関するハードの部分は何かと言うと「耐震・省エネ・バリアフリー」です。

### 耐震

家で命を落とさないように備えるのが耐震補強。住まいには絶対必要なことです。

### 省エネ

床・壁・天井・窓の断熱性能を高め居住スペース全体で生活に必要なエネルギー消費をおさえます。これは、住む人の命と地球の環境を守ることにもつながります。

### バリアフリー

段差解消に留まらない室内空間全体でのバリアフリー化を考えるのが肝心です。